

七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

令和5年度 中間評価

都道府県名	宮城県	事業実施主体	七ヶ浜町						
計画期間	令和4年度～6年度	地域再生計画名	七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生推進計画						
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	基本目標	指標(数値目標)	基準値	中間実績	最終目標値	達成度	中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			令和2年度	令和5年度	令和6年度	割合			
	基本目標Ⅰ 「日帰りリゾート」のポテンシャルを活かし、なりわいを創出する	指標1 公的機関の支援制度活用により町内で起業・創業した件数	0件	0件 (累計1件)	3件	33.3%	×		令和5年度の支援制度活用による起業は0件で、累計1件（令和4年度）となり、目標達成には至らなかった。
	基本目標Ⅱ 関係人口を拡げ、移住定住を促進する	指標2 本町への転入者数	544人	518人	600人	86.3%	×		令和5年度は目標値を82人下回る結果となった。令和4年度からは21人増加しているも、目標達成が難しい状況である。
	基本目標Ⅲ 人材育成を充実させ、子育ての希望につなげる	指標3 本町で子育てをしていきたいと回答する保護者の割合	93.00%	94.60%	95.00%	99.6%	△		令和5年度は目標値をわずかに下回る結果となったが、保健師の全戸訪問等の活動により、住民に寄り添いきめ細かな支援ができていて年々着実に上昇している。
基本目標Ⅳ 顔が見えるコンパクトな関係を築き、地域の安全・安心を確保する	指標4 地区の防災訓練参加人数	2,170人	2,469人	2,550人	96.8%	△	令和5年度は目標値を81人下回る結果となった。コロナ禍は開催の中止や規模の縮小が続いていたが、5類移行後に3地区合同の防災訓練を実施し前年より増加した。		
②評価方法	外部評価メンバーによる最終目標値における中間評価・検討等を行った。								
③中間評価の公表方法	七ヶ浜町のホームページに掲載								
④総合評価と今後の方針等	<p>地域再生計画の4つの基本目標は、令和5年度時点で目標には達していない。</p> <p>4つの目標の共通点は、町の魅力づくりとそれをどのように発信していくのかという点である。既成概念に囚われず、あらゆる視点から物事を取り込むことで、様々な分野で相乗効果を生み、町全体の魅力アップに繋がっていくものである。</p> <p>以下は、評価に係る有識者会議においての意見である。</p> <p>基本目標Ⅰ 町の魅力の発信方法の工夫が必要。関係団体と一体となり取り組む体制を構築し、SNSの活用で広く町の魅力をアピールするだけでなく、すでに町の魅力を知ってくれている人へのアピールも工夫する必要がある。</p> <p>基本目標Ⅱ 移住定住につなげたい世代がどこなのか、ターゲットを絞った発信が効果的ではないか。基本目標Ⅲにも通じるが、教育水準の高さや、SNSで発信したくなるスポットやイベントが充実すると移住定住に繋がると考えられるので、発信方法をどうすべきか戦略を考える必要がある。</p> <p>基本目標Ⅲ 英語教育は子ども達同士のコミュニケーションにも生かされている。あゆみの会やアロープログラム（ダーツ）の活動は大人と子供が関われるという点はコンパクトな町だからこそできている。これから子育てをしていく世代に町の取り組みをアピールすることで、基本目標Ⅱにも波及していくものと考えられる。</p> <p>基本目標Ⅳ 町民の防災や地域の安全に対する意識は非常に高い。防災訓練や合同地区民運動会を通して、地域の人の顔を知るという意味では、発災時の助け合いに繋がると考えられる。目標値には達しなかったが実績は十分である。さらに上を目指すのであれば、コンパクトな町ならではの活動をさらにアピールしていくことが必要である。</p> <p>以上の意見を踏まえ、町の今後の方針としては、日帰りで遊べる・小さな町だからこそ築ける町民同士の関係など、本町のポテンシャルを生かした町の魅力を積極的にアピールしていき、目標達成に向けた取り組みを継続して進めていく。</p>								